

第 6 5 回岡山県美容技術コンクール 競 技 要 綱

【中振袖着付競技の部】（モデル使用）

☆ 日 時 令和 7 年 6 月 1 6 日（月）
選手受付 8：10～9：00
※時間厳守（遅れると受付ができない場合があります）

☆ 会 場 岡山市中区門田本町 4 丁目 1 番 1 6 号
岡 山 国 際 ホ テ ル

☆ 全競技に関する注意事項

- ①出場者は受付を済ませ必ず 9 時までに選手控室にて待機すること。
- ②出場取消しについては、特別な事情がない限り、1 週間前までに 組合事務所（Tel 086-222-3221）に連絡のこと。
- ③エントリー料は如何なる理由があろうとも返金できません。
- ④参加賞（T シャツ）及び、お弁当はありません。
- ⑤各種目、エントリー者数が 3 名未満の場合、競技種目の除外等の規定を設けています。
- ⑥各種目、エントリー者数が 6 名未満の場合、優勝賞金の授与はありません。トロフィー及び賞状のみの授与となります。
- ⑦業務の都合上、電話でのお問い合わせ、質問等はお受けできません。ご質問等は、FAX 及び、下記アドレスの E メールでお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ> FAX：086-223-7455
Email：info@ba-okayama.or.jp

☆ 全競技に関する禁止事項

- ①選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの、下は黒または濃紺のスカートまたはスラックスとし、帽子は禁止する。靴はヒールの低いものとする。
- ②選手は、ガムを噛んだり、口の中に物を入れて出場してはならない。
- ③選手・モデルは控室以外で飲食してはならない。
- ④競技中、選手同士またはモデル・観客と会話等をしてはならない。
- ⑤競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ⑥競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
- ⑦控室は、受付終了後から閉会式終了後まで、監視員以外出入りは禁止です。
- ⑧館内禁煙です。喫煙所以外での喫煙はしないでください。
- ⑨ゴミの持ち帰り、後片付けなど社会人としてのマナーをお守りください。

(1) 出場資格 無資格者

(2) 競技時間 ○長襦袢及び中振袖の衿とじ（控室）・・・25分
○長襦袢着付・ひだ折り（控室）・・・30分
（ボディ修正のみ）
※ヘア・メイクは事前（控室入室前）に行っておくこと
○中振袖着付・帯結びの作業（ステージ）・・・20分

- (3) **競技内容** 通常成人式るとき用いられるもので、袋帯（六通または全通）を使用したもの。
- (4) **競技方法** 競技は「衿とじ」の作業及び「ボディ修正・長襦袢着付」までの作業と「振袖着付・帯結び作業」に分けて行う。準備作業及び長襦袢着付までの作業は、監視委員の立会いの下に控室で行い、振袖着付・帯結びの作業は、ステージ上で行う。

(5) **禁止事項**

- ①長襦袢及び振袖の衿とじ・重ね衿付けを事前に行うことは認めない。
- ②帯や着物に糸印・クリップなど目印を付けておくことは認めない。
- ③前身頃の衽の縫い目と「おはしより」の縫目はそろえること。
- ④極端に完成されたボディ修正用具の使用は認めない。補正はバラバラにしておくこと。
- ⑤帯のアクセサリは認めない。
- ⑥モデルがひも・伊達巻き・帯あげなどを結ぶことは認めない。（ただし、ひも・伊達巻き・帯あげなどを腕にかけたり、手に持つことはさしつかえない。）
- ⑦モデルが袖・衿元・裾などを修正することは認めない。（ただし、たもとを持ち上げることおよび衿合わせを押さえつけることはさしつかえない。）
- ⑧袖の錘用の板紙等の使用は認めない。
- ⑨助手の使用は一切認めない。（ただし、競技用具の搬出入のために助手を控室に立ち入らせることはさしつかえない。）
- ⑩身幅にアールをつけて胴部を絞った仕立ては認めない。
- ⑪巡礼衿は認めない。
- ⑫後衿の力布はあってはいけない。

(6) **注意事項**

- ①帯結びの型については、文庫型または太鼓型のバリエーションとする。
- ②半衿は無地とする。
- ③帯あげは「入りの型」とする。
- ④帯じめは中心で結ぶこと。
- ⑤背縫いの上下を背中心にそろえること。
- ⑥コーリンベルトの使用は認めない。
- ⑦寿ひも・二重・三重のゴムの仮紐の使用はさしつかえない。
- ⑧審査中モデルは前処理が見えるようにポージングすること。
- ⑨控室に電源の設備はない。

(7) **競技用具の準備（選手が準備するもの）**

- ①中振袖・重ね衿・袋帯（六通または全通）・草履・長襦袢・帯じめ・帯あげ・衣装敷（並判、氏名は裏に記入）・舞台競技用衣裳箱（氏名は裏に記入）
- ②小物付属品・・・足袋・肌襦袢・裾よけまたはワンピース型肌着・腰ひも（6本）・ゴム仮ひも・講師会の寿ひも・伊達巻き（2本）・ボディ修正用具（コットン・タオル・ガーゼ等）・帯枕・帯板・カラーバンドまたは輪ゴム・クリップ類（5本）・衿芯（和紙またはナイロン）
- ③裁縫用具一式

- (8) **審査** 技術性・調和性などを総合して審査を行う。